

まちづくり座談会



8月7日～8月26日
各地区公民館で開催

8月23日 東根地区

8月7日から26日にかけて町内全地区で、まちづくり座談会が開催されました。7月の豪雨災害、庁舎再配置、学校統合についての状況が報告されたあと、意見交換が行われました。今回は災害に関するご意見やご質問を多くいただきましたが、その概要をお知らせいたします。

豪雨災害の状況について

Q 災害により砂防えん堤に土砂がかなり堆積しているが、今後の対策をどのように考えているか。

A 砂防えん堤の土砂堆積についてはどこも同じような状態であり、また雨が降れば土砂が溢れて流れてくる危険性があります。1カ所つくるのに億単位の経費を要するため、すべて新設するというわけにはいきません。県にはできるだけ早く対応するよう要望していますが、状況についてご理解いただき、みなさんには、まずは安全確保を最優先していただくような対応をお願いします。

Q 災害で取水口が壊れて取水できない。応急処置でもよいので早急に対応してほしい。

A パイプやポンプ等で応急処置をしています。未対応の箇所があればご相談ください。緊急の対応が必要であれば、復旧にかかる資材や機械借上げの経費は町で負担しますので地元で対応していただいてもかまいません。改修等の復旧については、来春の取水に向けて年内中にできるだけ対応したいと考えています。

Q 非常時の対応が住民に浸透していない。自主防災組織も含めた非常時の対応について、今後どのように考えていくか。

A 自主防災組織が実際に災害対応をしたのは今回が初めてであり、対応する中で様々な課題があったものと認識しています。今後、区長、自主防災組織、住民の方々と連携し、検証を行い、より現実的な対応ができるような各地区ごとの防災計画や防災マップをつくる必要があると考えています。

Q 避難勧告等の情報が町のホームページに掲載されていない。情報伝達方法についてどのように考えているか。

A 情報提供の遅れについては、今回の災害対応の課題の一つとして認識しています。災害時に正確な情報を、様々な方法を使って伝達することは大切なことであり、ホームページ、メール、広報車の巡回、地域の組織や消防団を通しての伝達など再度見直しを行います。また、現在、Jアラート(※)の情報を地区公民館、小中学校、保育園、病院にも即時に伝達できるシステムを整備中でもあります。今後は、このシステムも活用していきます。

※国からの緊急情報を瞬時に伝達するシステム。

Q 八幡川が氾濫したが、さくらの保育園には2階もなく子どもたちはどこに避難すればよいのか不安である。非常時のマニュアルを早急につけていただきたい。

A さくらの保育園では災害発生時は高台に避難すること